

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

**特許第3857927号
(P3857927)**

(45) 発行日 平成18年12月13日(2006.12.13)

(24) 登録日 平成18年9月22日(2006.9.22)

(51) Int. Cl.

F I

E O 4 B 2/74 (2006.01)

E O 4 B 2/74 5 6 1 A

E O 4 H 1/12 (2006.01)

E O 4 B 2/74 5 4 1 A

E O 6 B 1/04 (2006.01)

E O 4 H 1/12 3 O 1

E O 6 B 1/04 A

請求項の数 7 (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2002-23333 (P2002-23333)
 (22) 出願日 平成14年1月31日(2002.1.31)
 (65) 公開番号 特開2003-221891 (P2003-221891A)
 (43) 公開日 平成15年8月8日(2003.8.8)
 審査請求日 平成16年6月17日(2004.6.17)

(73) 特許権者 390005267
 Y K K A P 株式会社
 東京都千代田区神田和泉町1番地
 (74) 代理人 100093964
 弁理士 落合 稔
 (72) 発明者 繁木 真司
 千葉県市川市堀ノ内3-22-1
 (72) 発明者 中野 正也
 千葉県市川市須和田2-17-2

審査官 前田 建男

(56) 参考文献 実開昭56-129421 (JP, U)
 実開平01-168611 (JP, U)
 特公昭61-27553 (JP, B2)
 最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 間仕切り

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

水場と脱衣室との間に、見付け方向に相互に連結した出入口建具および仕切りユニットを備えた間仕切りにおいて、

前記出入口建具は、建具枠と、前記建具枠に開閉自在に装着した建具本体と、前記建具枠の脱衣室側に取り付けしたアタッチメント枠とを有し、

前記仕切りユニットは、ユニット枠と、前記ユニット枠に装着した仕切りパネルとを有し、

前記アタッチメント枠の脱衣室側の端と前記ユニット枠の脱衣室側の端とが、面一に配設されていることを特徴とする間仕切り。

【請求項2】

前記アタッチメント枠の下枠の脱衣室側端部および前記ユニット枠の下枠の脱衣室側端部は、前記脱衣室の床材に固定されていることを特徴とする請求項1に記載の間仕切り。

【請求項3】

前記建具枠の浴室側の端と前記ユニット枠の浴室側の端とが、面一に配設されていることを特徴とする請求項1または2に記載の間仕切り。

【請求項4】

前記浴室には、防水パンが設けられ、

前記建具枠の下枠の浴室側端部および前記ユニット枠の下枠の浴室側端部は、前記防水パンの脱衣室側の縁部に載置した状態で、前記防水パンに水密に連結されていることを特徴

とする請求項 3 に記載の間仕切り。

【請求項 5】

前記出入口建具および前記仕切りユニットは、前記建具枠の縦枠と前記ユニット枠の縦枠とを突き合わせて相互に連結され、

前記アタッチメント枠の縦枠は、前記建具枠の縦枠と前記ユニット枠の縦枠とで構成される脱衣室側の凹部空間を覆う断面形状を有していることを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の間仕切り。

【請求項 6】

前記仕切りユニットは、棚部材を有し、

前記脱衣室および / または前記浴室に開口した複数の収納部を構成していることを特徴とする請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載の間仕切り。 10

【請求項 7】

前記複数の収納部のうち少なくとも 1 つの収納部は、前記脱衣室および前記浴室にそれぞれ開口していることを特徴とする請求項 6 に記載の間仕切り。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、浴室やシャワー室等のいわゆる水場と脱衣室との間を、建具と共に仕切る間仕切りに関する。

【0002】

20

【従来の技術】

従来、この種の間仕切りを、浴室の仕切り壁に適用した特開昭 6 1 - 2 7 5 5 3 号公報に記載のものが知られている。この仕切り構造は、左右の一方の半部に配設した折戸と他方の半部に配設した収納ユニットとで構成され、これら折戸および収納ユニットを連結枠で連結して、浴室と脱衣室とを仕切っている。収納ユニットは、中棧を有するユニット枠と、ユニット枠の上半部に装着した上収納箱と下半部に装着した下収納箱とで構成され、上収納箱が浴室側に開口すると共に下収納箱が脱衣室側に開口している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

このような従来の間仕切りでは、収納ユニットが、ユニット枠と上下の収納箱とで構成されているため、収納箱を適宜交換可能であるが、全体として構造が複雑になる問題があった。また、折戸やユニット枠に対し、奥行きのある上下の収納箱が見込み方向に突出しているため、下収納箱の下側の床面にゴミ溜まりができたり、全体としてデザインが不統一になる問題があった。 30

【0004】

本発明は、簡単な構造で、建具と間仕切りユニットとのデザイン上の統一を図ることができる間仕切りを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明の間仕切りは、水場と脱衣室との間に、見付け方向に相互に連結した出入口建具および仕切りユニットを備えた間仕切りにおいて、出入口建具は、建具枠と、建具枠に開閉自在に装着した建具本体と、建具枠の脱衣室側に取り付けたアタッチメント枠とを有し、仕切りユニットは、ユニット枠と、ユニット枠に装着した仕切りパネルとを有し、アタッチメント枠の脱衣室側の端とユニット枠の脱衣室側の端とが、面一に配設されていることを特徴とする。 40

【0006】

この構成によれば、建具枠の脱衣室側にアタッチメント枠を取り付け、脱衣室側において、このアタッチメント枠の端とユニット枠の端とを面一に配設しているため、脱衣室の床や天井等に対し、出入口建具および仕切りユニットの見切り線を、段部の無い直線とすることができる。すなわち、出入口建具側にアタッチメント枠を設けることにより、脱衣室 50

の床や天井の浴室側部分に出隅部分（凹凸）が生ずることがなく、且つこの部分の意匠の統一を図ることができる。

【 0 0 0 7 】

この場合、アタッチメント枠の下枠の脱衣室側端部およびユニット枠の下枠の脱衣室側端部は、脱衣室の床材に固定されていることが、好ましい。

【 0 0 0 8 】

この構成によれば、脱衣室側において、アタッチメント枠の下枠およびユニット枠の下枠の見切り線は段部の無い直線となるため、脱衣室の床材の端部も段部の無い直線で位置合わせすることができ、床張りおよび床構造を複雑にする必要がなくなる。

【 0 0 0 9 】

これらの場合、建具枠の浴室側の端とユニット枠の浴室側の端とが、面一に配設されていることが、好ましい。

【 0 0 1 0 】

この構成によれば、脱衣室側と同様に浴室側においても、建具枠の端とユニット枠の端とが揃っていて、その見切り線を段部の無い直線とすることができる。これにより、浴室側に無用の凹凸が生ずることがなく、この部分の意匠の統一を図ることができる。また、仕切りユニットに浴室と脱衣室との間の間仕切り壁を兼ねさせることができる。

【 0 0 1 1 】

この場合、浴室には、防水パンが設けられ、建具枠の下枠の浴室側端部およびユニット枠の下枠の浴室側端部は、防水パンの脱衣室側の縁部に載置した状態で、防水パンに水密に連結されていることが、好ましい。

【 0 0 1 2 】

この構成によれば、防水パンの縁部に対し、出入口建具および仕切りユニットを揃えた状態で載置し且つ水密に連結することができ、出入口建具および仕切りユニットと防水パンとの水密な連結構造を、単純化することができる。

【 0 0 1 3 】

これらの場合、出入口建具および仕切りユニットは、前記建具枠の縦枠とユニット枠の縦枠とを突き合わせて相互に連結され、アタッチメント枠の縦枠は、建具枠の縦枠とユニット枠の縦枠とで構成される脱衣室側の凹部空間を覆う断面形状を有していることが、好ましい。

【 0 0 1 4 】

この構成によれば、脱衣室側から見て、建具枠の縦枠とユニット枠の縦枠が不揃いであっても、この不揃い部分の凹部空間をアタッチメント枠の縦枠で覆っているため、出入口建具と間仕切りユニットとの脱衣室側の連結部分を、すっきりしたデザインに仕上げる事ができる。なお、この凹部空間を覆うアタッチメント枠の縦枠により、連結部分を全体として断面方形にすることが好ましい。また、上記の凹部空間をパイプスペース等に活用することが、より好ましい。

【 0 0 1 5 】

これらの場合、仕切りユニットは、棚部材を有し、脱衣室および／または浴室に開口した複数の収納部を構成していることが、好ましい。

さらには、複数の収納部のうち少なくとも1つの収納部は、脱衣室および浴室にそれぞれ開口していることが、より好ましい。

【 0 0 1 6 】

この構成によれば、仕切りユニットに棚部材を設けて複数の収納部を構成することで、仕切りユニットを有効に活用することができる。また、複数の収納部は適宜、脱衣室側に開口するものおよび浴室側に開口するものが存在することが、好ましい。さらには、脱衣室および浴室の両側に開口する収納部を設ければ、収納部を物の受け渡しにも活用することができ、使い勝手の良い収納部を構成することができる。

【 0 0 1 7 】

【 発明の実施の形態 】

10

20

30

40

50

以下、添付図面を参照して、本発明の一実施形態に係る間仕切りを、浴室と脱衣室の仕切り構造に適用した場合について説明する。図１の脱衣室側から見た姿図に示すように、浴室Ａと脱衣室Ｂの間には、左右の一方の半部（図示では左側半部）に折戸１が配設され、他方の半部（図示では右側半部）に収納棚ユニット（間仕切りユニット）２が配設されている。この浴室Ａは、脱衣室Ｂとの間を低段差としたバリアフリー設計のユニットバスで構成されており、このユニットバスの１つの側壁面が、折戸１と収納棚ユニット２とを連結した側壁面となっている。

【００１８】

図１ないし図４に示すように、折戸１は、四周枠である折戸枠１１と、折戸枠１１に開閉自在に装着した扉体１２と、折戸枠１１の脱衣室Ｂ側に連結した四周枠であるアタッチメント枠１３とで構成され、また扉体１２は、左扉体１２ａと右扉体１２ｂとを突き合わせた状態で中折れ自在に連結されている。この場合、扉体１２は、右扉体１２ｂの戸尻側を中心に、左扉体１２ａを折戸枠１１に沿ってスライドさせながら浴室Ａ内に折り込むことで開放され、また逆の手順で閉塞される。

10

【００１９】

折戸枠１１は、それぞれアルミニウムの型材等で構成した上枠１５、下枠１６および両縦枠１７、１７を枠組みして成り、浴室Ａの開口部（出入口）に取り付けられている。上枠１５は、上ガイドレール１９を有する上枠本体２０と、上枠本体２０から脱衣室Ｂ側に延びるアタッチメント上取付部２１と、上枠本体２０から浴室Ａ側に逆「Ｌ」字状に上側に延びるにユニットバス取付部２２とで、一体に形成されている。そしてユニットバス取付部２２が、ユニットバスの上チャンネル材２３にねじ止めされている。

20

【００２０】

下枠１６は、下ガイドレール２５を有する下枠本体２６と、下枠本体２６から脱衣室Ｂ側に延びるアタッチメント下取付部２７と、下枠本体２６の浴室Ａ側の下側に連なる下枠中空部２８とで、一体に形成されている。下枠１６は、下枠中空部２８の部分でユニットバスの防水パンＰの縁部に着座し、コーキング材を介して防水パンＰに水密に連結されている。各縦枠１７は、中空の縦枠本体３０と、縦枠本体３０の脱衣室Ｂ側から見付け方向の内側に延びるシール取付部３１と、縦枠本体３０の脱衣室Ｂ側から見込み方向の外側に延びるアタッチメント縦取付部３２とで、一体に形成されている。

【００２１】

30

アタッチメント枠１３は、それぞれアルミニウムの型材等で構成したアタッチメント上枠３５、アタッチメント下枠３６および両アタッチメント縦枠３７、３７を枠組みして構成されている。この場合、アタッチメント枠１３は、折戸枠１１に連結した状態でその脱衣室Ｂ側の端が収納棚ユニット２の端（ユニット枠６１の端）と面一となるような見込み寸法に形成されている。すなわち、脱衣室Ｂ側において、アタッチメント枠１３のアタッチメント上枠３５、アタッチメント下枠３６およびアタッチメント縦枠３７は、それぞれ後述するユニット枠６１のユニット上枠７１、ユニット下枠７２およびユニット縦枠７３と面一に配設されている。

【００２２】

アタッチメント上枠３５は、中空の上枠本体３９と、上枠本体３９から浴室Ａ側に延びる上枠連結部４０と、上枠本体３９から脱衣室Ｂ側に延びる上枠見切り部４１とで、一体に形成されている。そして、上枠連結部４０は、上枠１５のアタッチメント上取付部２１に上側から重なってこれにねじ止めされており、この状態で、アタッチメント上枠３５の上枠本体３９とアタッチメント上取付部２１とが面一となっている。また、上枠見切り部４１は、後述する床材７９に固定されている。

40

【００２３】

同様に、アタッチメント下枠３６は、アタッチメント上枠３５を上下反転した同一の断面形状のものであり、中空の下枠本体４３と、下枠本体４３から浴室Ａ側に延びる下枠連結部４４と、下枠本体４３から脱衣室Ｂ側に延びる下枠見切り部４５とで、一体に形成されている。そして、下枠連結部４４は、下枠１６のアタッチメント下取付部２７に下側から

50

重なってこれにねじ止めされており、この状態で、アタッチメント下枠 36 の下枠本体 43 とアタッチメント下取付部 27 とが面一となっている。また、下枠見切り部 45 は、後述する床材 85 に固定されている。

【0024】

各アタッチメント縦枠 37 は、見込み方向に延在する縦枠本体 47 と、縦枠本体 47 の浴室 A 側に形成した縦枠連結部 48 と、縦枠本体 47 の脱衣室 B 側において見付け方向に突出した舌片部 49 とで、一体に形成されている。また、収納棚ユニット 2 側のアタッチメント縦枠 37 には、後述するユニット枠 61 のユニット縦枠 73 との間に脱衣室側 B からキャップ部材 50 が装着されていて、折戸枠 11 の縦枠（縦枠本体 30）17、ユニット枠 61 のユニット縦枠（縦枠本体 91）73、アタッチメント縦枠 37 およびキャップ部材 50 が、全体として方形に組まれている。すなわち、アタッチメント縦枠 37 とキャップ部材 50 とにより、縦枠 17 およびユニット縦枠 73 間に生ずる凹部空間 51 を覆って、この連結部分全体が方形に枠組みされている。

10

【0025】

収納棚ユニット 2 は、ユニット枠 61 と、ユニット枠 61 の中間に中棧様に設けた棚部材 62 とを有しており、この棚部材 62 で仕切られるようにして上収納部 63 および下収納部 64 が構成されている。上収納部 63 は脱衣室 B 側を上仕切りパネル 65 で閉塞し、浴室 A 側に開口している。逆に、下収納部 64 は浴室 A 側を下仕切りパネル 66 で閉塞し、脱衣室 B 側を開口している。すなわち、上収納部 63 は浴室 A 側の収納部となり、下収納部 64 は脱衣室 B 側の収納部となっている。なお、上収納部 63 および下収納部 64 を、浴室 A 側および脱衣室 B 側のいずれに開口するかは、任意であり、且つユーザの要望により変更可能に構成されている（詳細は後述する）。

20

【0026】

ユニット枠 61 は、それぞれアルミニウムの型材等で構成したユニット上枠 71、ユニット下枠 72 および両ユニット縦枠 73、73 を枠組みして構成されている。ユニット上枠 71 は、下端部の見込み方向両端部に下向き的一对のパネル装着溝 75、75 を有する上枠中空部 76 と、上枠中空部 76 の脱衣室 B 側上部から延びる天井固定部 77 と、上枠中空部 76 の浴室 A 側上部から延びるユニットバス取付部 78 とで、一体に形成されている。そして、ユニット上枠 71 は、ユニットバス取付部 78 でユニットバスの上チャンネル材 23 に固定され、天井固定部 77 で脱衣室 B の天井材 79 に固定されている。

30

【0027】

ユニット下枠 72 は、ユニット上枠 71 を上下反転した同一の断面形状のものであり、上端部の見込み方向両端部に上向き的一对のパネル装着溝 81、81 を有する下枠中空部 82 と、下枠中空部 82 の脱衣室 B 側下部から延びる床固定部 83 と、下枠中空部 82 の浴室 A 側下部から延びるユニットバス載置部 84 とで、一体に形成されている。そして、ユニット下枠 72 は、ユニットバス載置部 84 でユニットバスの防水パン P の縁部に着座し、コーキング材を介してこれに水密に連結され、且つ床固定部 83 で脱衣室 B の床材 85 に固定されている。

【0028】

この場合、ユニット枠 61 の浴室 A 側端と折戸枠 11 の浴室 A 側端とは、面一に配設されていて、折戸枠 11 は元よりユニット枠 61 も、可能な限り凹凸のない状態で浴室 A に直接面している。そして、ユニットバスとの接合部分でこれと水密に連結されている。

40

【0029】

中棧の形態を有する棚部材 62 は、上端部の見込み方向両端部に上向き的一对のパネル装着溝 87、87 を有すると共に、下端部の見込み方向両端部に下向き的一对のパネル装着溝 88、88 を有して、方形の中空形状に形成されている。ユニット上枠 71 の脱衣室 B 側のパネル装着溝 75 と棚部材 62 の脱衣室 B 側の上向きパネル溝 87 との間には、上仕切りパネル 65 が装着されている。同様に、ユニット下枠 72 の浴室 A 側のパネル装着溝 81 と棚部材 62 の浴室 A 側の下向きパネル溝 88 との間には、下仕切りパネル 66 が装着されている。なお、上下両仕切りパネル 65、66 が装着されていない装着溝には、逆

50

「U」字状断面のダミー部材（形材）８９がこれを埋めるように装着されている。

【００３０】

各ユニット縦枠７３は、中空の縦枠本体９１と、縦枠本体９１の浴室Ａ側内面に内向きに突出するパネル取付片９２と、このパネル取付片９２に押し縁形式で浴室Ａ側から固定されるパネル押さえ片９３と、縦枠本体９１の脱衣室Ｂ側内面にねじ止めされるパネル取付部材９４と、このパネル取付部材９４に押し縁形式で脱衣室Ｂ側から固定されるパネル押さえ片９５と、縦枠本体９１から脱衣室Ｂ側に延びる脱衣室側固定部９６とで、構成されている。

【００３１】

この場合、上仕切りパネル６５は、パネル取付部材９４と脱衣室Ｂ側のパネル押さえ片９５との間に装着され、下仕切りパネル６６は、パネル取付片９２と浴室Ａ側のパネル押さえ片９３との間に装着されている。したがって、これらの不要となる部分、すなわち上収容部６３に対応するパネル取付片９２および浴室Ａ側のパネル押さえ片９３は取り除かれ、下収容部６４に対応するパネル取付部材９４および脱衣室Ｂ側のパネル押さえ片９５は取り除かれている。

10

【００３２】

上仕切りパネル６５は、それぞれ脱衣室側の両パネル装着溝７５，８１により上下をけんどん式で、且つ両パネル取付部材９４，９４と脱衣室Ｂ側の両パネル押さえ片９５，９５とにより左右を押し縁形式で装着されている。同様に、下仕切りパネル６６は、それぞれ浴室側の両パネル装着溝７５，８１により上下をけんどん式で、且つ両パネル取付片９２，９２と浴室Ａ側の両パネル押さえ片９３，９３と左右を押し縁形式で装着されている。

20

【００３３】

そして、折戸１側のユニット縦枠７３は、折戸枠１１の縦枠１７と背合わせに直接連結され、またその脱衣室側固定部９６には、上記のキャップ部材５０がねじ止めされている。一方、側壁側のユニット縦枠７３は、浴室Ａ側がユニットバスの縦チャンネル材９７に固定され、脱衣室Ｂ側が側壁材９８に固定されている。

【００３４】

次に、図５ないし図８を参照して、本発明の第２実施形態について説明する。この実施形態では、折戸１に連なるユニットバスの袖壁Ｃを生かした状態で、袖壁Ｃの脱衣室Ｂ側にこれに接するように収納棚ユニット２Ａが配設されている。この場合の収納棚ユニット２Ａは、化粧キャビネットの形態を有しており、ユニット枠１０１と、中棧様の棚部材１０２と、棚部材１０２と共にユニット枠１０１内を縦横に仕切る仕切り部材１０３と、上開閉扉１０４と、下開閉扉１０５と、袖壁Ｃに沿って配設した背面パネル１０６とを有している。

30

【００３５】

そして、棚部材１０２の上側には、観音開き形式の上開閉扉１０４により開閉される上収容部１０７が形成されている。また、棚部材１０２と棚部材１０２の直下の仕切り部材１０３ａとの間には、脱衣室Ｂに開口した中間収容部１０８が形成されている。さらに、上記の仕切り部材１０３ａの下側には、観音開き形式の下開閉扉１０５により開閉される下収容部１０９が形成されている。

40

【００３６】

ユニット枠１０１は、それぞれアルミニウムの形材等で構成したユニット上枠１１１、ユニット下枠１１２および両ユニット縦枠１１３ａ，１１３ｂを枠組みして構成されている。そして、この場合も、脱衣室Ｂ側において、アタッチメント枠１３のアタッチメント上枠３５、アタッチメント下枠３６およびアタッチメント縦枠３７は、それぞれユニット枠１０１のユニット上枠１１１、ユニット下枠１１２およびユニット縦枠１１３ａ，１１３ｂと面一に配設されている。

【００３７】

ユニット上枠１１１は、「コ」字状断面の上枠本体１１５と、上枠本体１１５の脱衣室Ｂ側上部から延びる天井固定部１１６とで、一体に形成されている。そして、ユニット上枠

50

１１１の天井固定部１１６が、脱衣室Ｂの天井材７９に固定されている。ユニット下枠１１２は、ユニット上枠１１１を上下反転した同一の断面形状のものであり、「コ」字状断面の下枠本体１１８と、下枠本体１１８の脱衣室Ｂ側上部から延びる床固定部１１９とで、一体に形成されている。そして、ユニット下枠１１２の床固定部１１９が、脱衣室Ｂの床材８５に固定されている。また、棚部材１０２は、単純な中空の方形断面に形成されている。

【００３８】

両ユニット縦枠１１３ａ，１１３ｂは、側壁側のユニット縦枠１１３ａと折戸１側のユニット縦枠１１３ｂとが異なる断面形状を有している。側壁側のユニット縦枠１１３ａは、平板状の縦枠本体１２１と、縦枠本体１２１の浴室Ａ側から外向きに「Ｌ」字状に屈曲するパネル取付部１２２と、縦枠本体１２２から脱衣室Ｂ側に延びる側壁固定部１２３とで、一体に形成されている。一方、折戸１側のユニット縦枠１１３ｂは、スリット溝１２６を形成した浴室Ａ側の縦枠中空部１２５と、縦枠中空部１２５から脱衣室Ｂ側に大きく「Ｌ」字状に延びる縦枠本体１２７とで、一体に形成されている。

10

【００３９】

そして、側壁側のユニット縦枠１１３ａのパネル取付部１２２および折戸１側のユニット縦枠１１３ｂの縦枠中空部１２５に、背面パネル１０６が固定されている。また、折戸１側のユニット縦枠１１３ｂにおける縦枠本体１２７の先端部には、アタッチメント縦枠３７が固定されている。なお、第２実施形態におけるアタッチメント縦枠３７の浴室側は、折戸枠１１と縦枠中空部１２５に沿うように断面略「Ｕ」字状に形成されている。また、このアタッチメント縦枠３７と折戸１側のユニット縦枠１１３ｂとで囲まれた凹部空間１２９は、簡単なパイプスペースとなっている。

20

【００４０】

仕切り部材１０３は、一箇所にスリット溝１３１を形成した中空の略方形断面に形成されており、上収納部１０７においては、これを縦横に用いて複数の収納空間を構成している。また、この複数の収納空間のうち１つの収納空間は、浴室Ａに連通している。すなわち、上記収納空間の延長部位には、袖壁Ｃに貫通枠１３３が取り付けられており、この貫通枠１３３が、各仕切り部材１０３のスリット溝１３１に嵌合し、脱衣室Ｂと浴室Ａとが連通している。この連通部分により、脱衣室Ｂと浴室Ａとの間で物の受け渡しができるようになっている。

30

【００４１】

以上のように、折戸１側にアタッチメント枠１３を設け、且つこのアタッチメント枠１３の脱衣室Ｂ側端と収納棚ユニット２，２Ａのユニット枠６１，１０１の脱衣室Ｂ側端とを面一に配設しているため、折戸１側と収納棚ユニット２側との間に一体性を持たせることができる。また、アタッチメント枠１３のアタッチメント下枠３６とユニット枠６１，１０１のユニット下枠７２，１１２とが、同一直線上に配設されるため、これに合わせて床の端部を直線とすることができ、床の構造が複雑になることが無い。また、アタッチメント縦枠３７とユニット縦枠（およびキャップ部材５０）７３，１１３ｂにより、折戸１と収納棚ユニット２，２Ａとの連結部分をすっきりしたデザインに仕上げることもできる。

【００４２】

なお、本実施形態では、出入口建具として折戸について説明したが、浴室ドア等にも適用することができる。また、本発明は、浴室の他、シャワー室などのいわゆる水場に適用できることは、いうまでもない。

40

【００４３】

【発明の効果】

以上のように本発明の間仕切りによれば、脱衣室側において、アタッチメント枠とユニット枠とを直線上に揃えて配置しているので、出入口建具および仕切りユニットの見切り線を、段部の無い直線とすることができ、特に脱衣室の床および天井を出隅部分の無い構造とすることができ、床構造等を単純化することができると共に、デザイン上の統一を図ることができる。

50

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の一実施形態に係る折戸および収納棚ユニットの脱衣室側から見た正面図である。

【図 2】実施形態に係る折戸廻りの縦断面図である。

【図 3】実施形態に係る収納棚ユニット廻りの縦断面図である。

【図 4】実施形態に係る折戸および収納棚ユニットの横断面図である。

【図 5】第 2 実施形態に係る折戸および収納棚ユニットの脱衣室側から見た正面図である。

【図 6】第 2 実施形態に係る折戸廻りの縦断面図である。

【図 7】第 2 実施形態に係る収納棚ユニット廻りの縦断面図である。

【図 8】第 2 実施形態に係る折戸および収納棚ユニットの横断面図である。

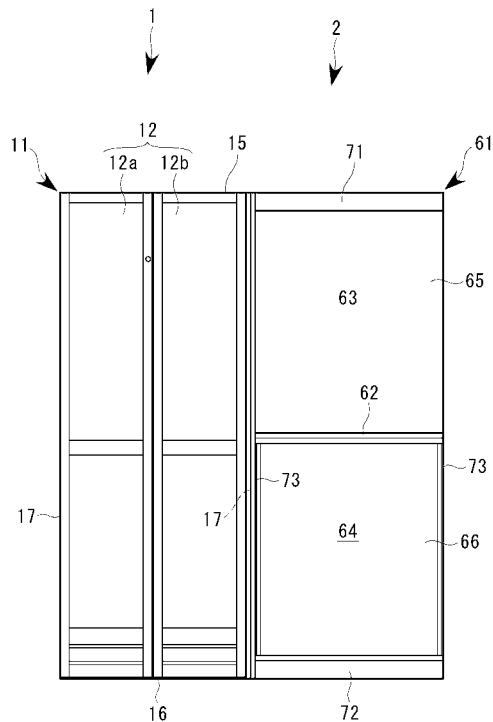
【符号の説明】

1 折戸、2, 2A 収納棚ユニット、11 折戸枠、12 扉体、15 上枠、16 下枠、17 縦枠、35 アタッチメント上枠、36 アタッチメント下枠、37 アタッチメント縦枠、50 キャップ部材、51 凹部空間、61 ユニット枠、62 棚部材、63 上収納部、64 下収納部、65 上仕切りパネル、66 下仕切りパネル、71 ユニット上枠、72 ユニット下枠、73 ユニット縦枠、85 床材、101 ユニット枠、102 棚部材、103 仕切り部材、107 上収納部、108 中間収納部、109 下収納部、111 ユニット上枠、112 ユニット下枠、113a, 113b ユニット縦枠、129 凹部空間、133 貫通枠、A 浴室、B 脱衣室

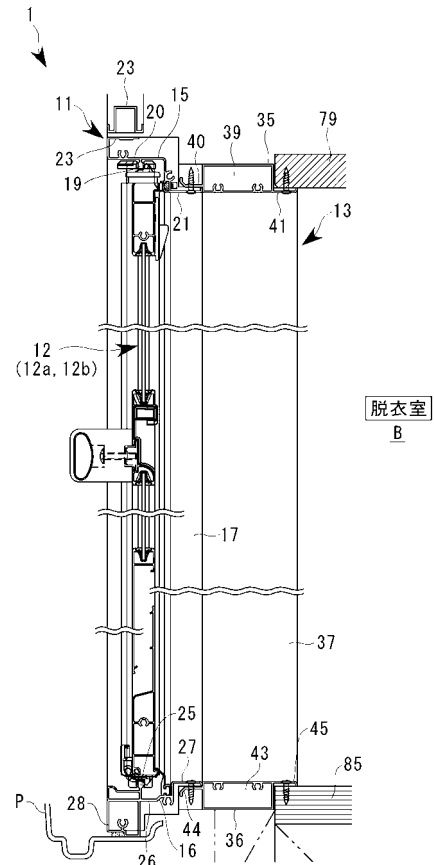
10

20

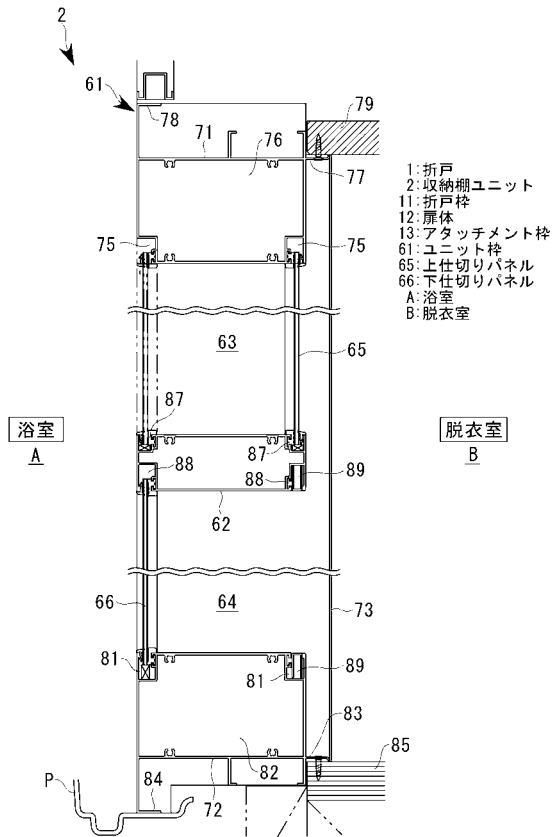
【図 1】



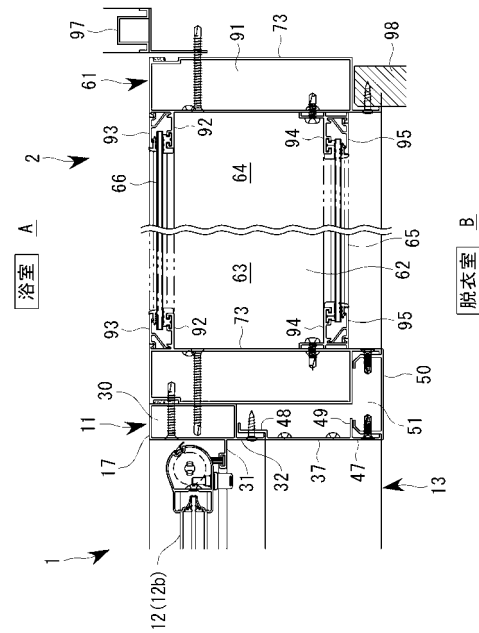
【図 2】



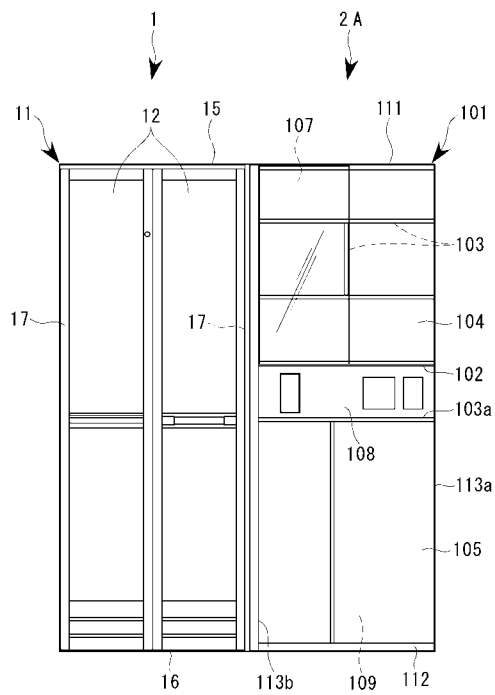
【図 3】



【図 4】



【図 5】



フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)

E04B 2/74

E04H 1/12

E06B 1/04